

「あこがれの自分を目指して ～共に歩む！一人でも翔ぶ！～」

平成29年度 柳津町立西山中学校

学校だより

平成30年1月19日(金)発行 第 38 号 発行責任者:高橋 弘悦

ラジオ福島で紹介されました！ 今も昔も地域に愛される学校です

今年は何かにつけて閉校のことを話題にしなければならぬことが多いのですが、つい先日、本当に偶然なのですが、ラジオ番組で西山中学校のことを話題にしているものを耳にしました。

13日の土曜日、9時30分頃のラジオ福島の番組です。アナウンサーの大和田 新さんの番組だったのですが、突然西山中学校が今年度いっぱい閉校になることを話し出しました。



ラジオ福島 アナウンサー

大和田 新

「西山中学校は柳津町の奥にある小さな学校です。今、全校生は12人と聞きました。小さな学校なんだけどいろいろなことを頑張っています。私が直接取材したことで、忘れられないエピソードがあります。当時も小さな学校で、部活動といえばバドミントンしかない。そんな中、体育の先生が、ある生徒の走りを見ていて声をかけるんです。『いい走りをしているから、大会に出てみないか』。生徒は答えます。『走ることなんかできないですよ。他の学校速い生徒ばかりだし…』いろいろなやりとりがあったんだけど、その生徒は陸上の大会に出ることになります。すると、その生徒どんどん勝ち進んでいくんですね。支部の大会はもとより、全会津大会で優勝、県大会でも優勝、そして東北大会でも2位の成績を収めます。そして全国大会に進むのですが、全国大会ではあえなく予選で敗退します。東北大会で2位の生徒が予選敗退は考えられない。聞けば、その生徒は走るのも難しいくらい大きなケガをしていたとのこと。私は聞きました。『そんなケガをして、どうしていわなかったの?』するとその生徒は『地域の人があれだけ応援してぼくを送り出してくれたんです。地区の方から寄付もいただきました。いえっこないじゃないですか。』地域全体で生徒を応援しようとする西山地区、そしてそれに応じて活躍する生徒たち。まさに地域と一体となった学校なんですね。このような学校がなくなることはとても寂しいことです。」

多くの方が応援してくださっているのが西山中学校です。ラジオ福島の大和田さんもそうですが、このエピソードにあるように西山中学校には、応援してくださる方がたくさんいます。見ず知らずの人に「私は西山中学校のファンです」といわれたこともあります。

西山中学校として活動する期間も残り少なくなりましたが、この期待に応えられるよう精一杯頑張ります。

心肺蘇生法を学びました

18日、2年生の保健体育の授業で会津坂下消防署 柳津出張所の方をお招きして、心肺蘇生法を学びました。

心臓や呼吸が止まってしまった人を救うのが心肺蘇生法、またAEDの使用などの事を一次救命処置といいます。2年生の4人は、小学校でも昨年のJRCトレセンでも学んでいますが、繰り返し訓練



することがいざというときに役立ちます。生徒たちは講師の先生の説明に熱心に耳を傾け、真剣に訓練に臨んでいました。

授業では、学校に備え付けてあるAEDを実際に関開け、付属物の確認もしました。「ある」ということに満足し、置いてある場所や付属物に何があるのか意外にわかっていないことが多いもの。2年生の4人は、この授業でAEDがどこにあり、どのように使えばよいか理解することができました。この4人がいれば…もう安心です。

インフルエンザが流行しています

本校には現在のところ影響はないようですが、他校ではインフルエンザが流行し、中には学級閉鎖を余儀なくされている学校もあるようです。近くの某校長先生も罹患し、現在自宅療養中です。

うがい、手洗い、換気…。感染症の予防のために、これまで行ってきたことをきちんと行うことはもちろん大事ですが、規則正しい生活をして抵抗力を高めていくことも大事です。大事な時期ですので、感染防止に努めていきましょう。

また、凍結による転倒、大けがの事例も報告されています。注意したいものです。

	インフルエンザ	風邪
症状	38度以上の発熱	発熱
	全身症状（頭痛、関節痛、筋肉痛など）	局所症状（のどの痛み、鼻水、くしゃみ、咳、など）
	局所症状（のどの痛み、鼻水、くしゃみ、咳、など）	
	急激に発症	比較的ゆっくり発症
流行の時期	12～3月（1月～2月がピーク） ※4月、5月まで散発的に続くことも	年間を通じて。特に季節の変わり目や疲れているときなど